



waterras.com

FREE AWAJI BOOK 8890

フリーアワジブック 8890
2017.12.01 発行

発行：一般社団法人 読書エニアメソッド
〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-105 フラタスエニアメソッド
Tel 03-3526-9883 Fax 03-3526-0090 www.waterras.com



編集：グッドモーニング株式会社 水代 優
www.goodmornings.co.jp

¥0

WATERRAS

人情・情緒を引き継ぎ
大きなコミュニティをかくむ

2017 December No.20
Call me FAB!

FREE
AWAJI
BOOK 8890

特集…神田でほっこり月
とっておきケーキ



SWEETS FOR MY SWEET



お茶のある
もてなしの食風景。

1899では12/27(水)に落語家の三遊亭竜楽さんをお招きし、落語とお食事を楽しんでいただくイベントを開催いたします。詳しい内容はホームページでご覧いただけます。みなさまのご参加をお待ちしております。



RESTAURANT 1899 OCHANOMIZU
101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-4
TEL 03-3251-1150 FAX 03-3251-0270 <http://1899.jp/>

12月からすこし変わった1899をお楽しみください。

「見たい笑顔の数だけ買って帰ろう」
なんて、食いしん坊の言い訳でしょうか。



Text Mari Kubota
Photo Yuta Suzuki

SWEETS FOR MY SWEET

多くの人から愛され続けている 老舗洋菓子店で季節を感じる



ガラスケースにずらりと並ぶ、名物ケーキの数々。圧巻。



朝イチの市場から戻った吉田社長。スタッフにテキパキと指示を出す。

天井が高く、レトロな雰囲気漂う店内。フレッシュケーキのほか焼き菓子、パンなどたくさんの種類を取りそろえている。神田須田町の交差点すぐそばにある、近江屋洋菓子店だ。現在の建物は1966年(昭和41)に建てられたものだが、先祖が1884年(明治17)に三重・桑名より上京し、炭屋から始まったそう。夏場の商いが成り立たず、パン屋に転身し、最初は仕入れて販売していたが、ほどなくして製造も手がけるように。「二代目はアメリカに渡ってケーキの作り方を習い、帰国後にロックケーキという名のブドウパンを作りました。戦前戦中に砂糖やかりんとうを売っている時代もありましたし、今のようには生菓子売るようになったのは戦後になってからですね」と四代目の吉田太郎さん。

地元はもとより、自宅用に贈り物にと近隣の区からも来客がある。アラカルトでいろいろなケーキを詰め合わせる人、ショートケーキやアップルパイなどのホールを選ぶ人は半々くらい。昔ながらの味を大切にしているかと思いきや、そうではないらしい。「お菓子は時代とともに変わるもの。材料も機械も良くなっているので、より美味しいものを、とレシピを変えているんです」と吉田さん。



しかしながら、守り続けているものも。「リーズナブルだけどチープではない」という姿勢だ。これを実現するため、吉田さんは開店前大田市場に毎朝足を運び、果物のプロたちと会話をしながら、一番美味しい旬のものをできるだけ安く仕入れている。「目指すは、毎日食べられる贅沢なもの。朝に買い付けて、昼には商品になっています。スピードも大切なんです」。人気の高いアップルパイにしても、昔は「紅玉」を使っていたが、今では「ふじ」を使用。10月から出回る前の数か月間は、早生品種の「つがる」でつなぐ。産地はもちろんのこと、その時々で最も美味しい品種を選び抜き、手に届く贅沢を実現させているのだ。季節を感じながら、スイートな時を過ごしてみてもいい。



海外で出逢った味をヒントに作られたお菓子も。



近江屋洋菓子店

千代田区神田淡路町2-4

☎ 03-3251-1088

🕒 9:00～19:00
(日祝10:00～17:30)

📅 年中無休

※年末年始の休業・時間については要問い合わせ。

店内のイトインコーナーでもお菓子とドリンクを提供している。

自分たちらしいライフスタイルが ギュッと詰まったタルト専門店

明治大学と古書店街の間に、小さなビルが集まる静かなエリアがある。そこで、控えめにたたずんでいる、STYLE' S CAKES & CO.。12時開店時には、ショーケースにパイ・タルト 10～12 種、キッシュ 2 種が並ぶが、夕方には売り切れてしまうほどの人気店だ。神田生まれ育ちの店主・岩崎修さんが、妻の百合子さんと一緒に、“自分たちが美味しい”と自信を持ってすすめられるものを毎日ベイクしている。

両親が喫茶店を営んでいた影響もあり、飲食関連の編集者をしていたが、29歳の時に「女性ひとりでも入るお店を」と百合子さんとカフェを始めた。店を始めて15年、飲食店が多

い神田エリアで“ランチ戦争”が繰り広げられ、効率よく回転させていく経営に疑問を持ち始めた。「自分たちのライフスタイルに寄り添ったものにしたいという思いが強くなりまして」。そこで7年前に今の場所に移転、タルト専門店を開いたのだった。見ているだけで幸せな気持ちになってくるタルトやパイ。季節のフルーツなどを使い、秋から12月にかけては栗を使ったものも登場する。キッシュには、山梨から届く無農薬で作られた野菜や、近くの自然食品店から届く新鮮な卵が使われているそう。砂糖は、精製された白砂糖から、フィリピン・ネグロス島でサトウキビから作られるマスコパド糖に替えた。「ご近所の飲食店の方から教えて頂いて。



前を歩く人の目を引く、深みのある水色の壁。ここだけ外国のような、しっかりと落ち着いた雰囲気漂う。

SWEETS FOR MY SWEET



店主の岩崎さんは、「写真は苦手」とはにかみながらも丁寧に話してくれた。



ケーキ棚の向こう側にある厨房からは、活気ある会話と甘い香りが。



愛情をかけたラインナップはどれも“一押し”。

甘さのキレがいいし、栄養価も高い。クリームに使うとくすんだ色がついてしまうけれど、体によくて美味しいものなので、自分たちで説明すればいいと思ったんです」。岩崎さん夫妻が大切にするつながりや、自分たちのライフスタイルが、パイやタルトとして表現されている。

平日は近隣の会社で働く人たちが、週末になると遠くから買い求めにやって来る。最近では、自分へのご褒美にと男性が1つ購入するケースも。そんな時代の変化に、岩崎さんは嬉しくなるそう。二人の思いが詰まったパイやタルトを口にする、穏やかな時間が流れる。

STYLE'S CAKES & CO. 千代田区神田小川町3-16-5

☎ 03-3291-6910 ㊟ 12:00～19:00 (土～17:00、売り切れ次第終了) ㊟ 日曜・祝日

HANG OUT MAP

ぶらぶらマップ

illustration Mougi Kazuya

A 12月12日(火)～12月17日(日) Move Arts Japan Exhibition

AIR 3331 が連携する海外作家招聘プログラム Move Arts Japan が公募と推薦によって選出した、ドイツ、韓国、台湾出身の招聘アーティスト3名による日本国内での「旅」をテーマとした滞在成果発表展。12/17 にはトークイベント「旅×AIRの可能性2」も開催します。

・時間 12:00～18:00 ・会場 3331 GALLERY (アーツ千代田 3331、1 階 104)



● コーヒーバーラー
ヒルトップ

STYLE'S CAKES & CO.

東京メロンパン

B 2017年11月10日(金) ～2018年2月15日(木) sola city winter illuminations (ソランシティ ウィンター イルミネーション)

空と緑が広がる駅前広場が幻想的なシャンパンゴールドのイルミネーションで彩られます。この時期だけの幻想的な冬の風物詩をお楽しみください。



・入場無料
・会場 御茶ノ水ソラシティ B1F・1F
※クリスマスツリーの点灯は 12月25日(月)まで

● DOCE
ESPIGA

靖国通り

*店は編集部が独自にセレクトしました。

C 2017年12月31日(日) ～2018年2月3日(土)

師走大祓式 ・場所 神田明神

12月31日(日) 14時～ 正月 新年参拝。
1月8日(月) 成人式。1月13日(土)、14日(日)の2日間「だいこくまつり」。

※13日は10時～「寒中祝」、14日は12時～「四條流包丁式」
2月3日(土) 14時～「節分祭」



● café 104.5

● 近江屋洋菓子店

KANDA MANSEIBASHI
NOAKE TOKYO

D 2018年1月29日(月)～6月22日(金) 安藤晶子・作品展 / 瀬崎聡子・作品展



上原修一さんによる「月の満ち欠け」展とほりはたまおさんの「One or More」展の終了後、1月から6月まで安藤晶子さんと瀬崎聡子さんによる作品展を新たに開催します。café104.5のお食事とともに、ゆっくりと作品をお楽しみください。



・入場無料 会期中、貸切日などあり。HPよりご確認ください。
・場所 ワテラスタワー 2F café104.5

KNOCK! KNOCK!

振天堂ビル

設計_株式会社 創建社(設計者不明)



神田の建築物の数々を訪ねるこのコーナー、今回も建築設計事務所・オンデザインから森詩央里さんが登場、神田小川町3-10にある「振天堂ビル」を訪れ、そのユニークなエレベーターを中心に見て回った。

駿河台下の交差点そばにある三角帽のような形の区画。その先端にあたる部分の、これまた三角帽形の振天堂ビル。アンティーク時計の修理専門店・振天堂トケイ店のオーナー兼職人の戸田さんが所有するこのビルは、竣工が昭和35(1960)年、典型的な戦後昭和の時代からこの地にあり続けている。

この注目ポイントはなんとドアが手動式(!)のエレベーター。行き先フロアのボタンを押したのち、耳を澄ますと聞こえる「...ゴトツ」という到着音の後に灯る「到着」ランプを確認した上で、自ら扉を開けて乗り込む、そんなちょっとしたドキドキ感を味わえる。扉を開けると、上下移動時に

危なくないよう、柵の役割を果たす内扉が。そのゴツゴツとした質感が、エレベーター内の少しひんやりとした空気とセットで、ほどよい緊張感をもよおす。BGM はもちろんない。

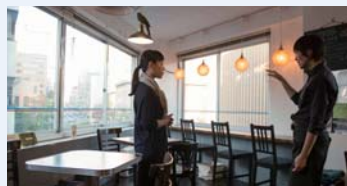


ビルの外観。三角帽の形をしたその先からみた様子。

竣工当時はごく一般的だったものの、今となっては都内にごく数えるほどしかないというこの手動式エレベーター、4Fで美味しいカレーで人気のCafe HINATA-YAを営む鈴木さんにとっても大事な存在。「10年近く前、当初は、窓も大きくて見晴らしが良いことに注目して入居したんですけど、意外なことに、お客さんがエレベーターの体験も込みでお店を好きになってくれるので。もはやカレーとセットで楽しむべきマストスポットなのだ。



エレベーターからお店への入り口まで。



店名の由来は、その日当たりの良さから。ビルの三角形感も味わえる。



このマニュアル感も初体験のオンデザイン森さん(左)。Cafe HINATA-YA 鈴木さん(右)から開け方を教わる。



Cafe HINATA-YA

営業時間: 月~金 11:30~20:30(L.O.) 土 11:30~19:00(L.O.)
定休日: 日/祝 ☎03-5848-7520

総評 オンデザイン代表・西田氏から

ビルのオーナーである戸田さん自身も明治から続く老舗企業の三代目職人。しかも修理の対象がアンティーク時計という、時を刻み続けるモノであるのが象徴的です。永く大事に使いたい、というクライアントの気持ちに日々応え続ける氏だけに、このエレベーターを存続させることへの価値の見出し方も相当なものであると伺われます。

株式会社オンデザインパートナーズ/横浜に拠点を置く建築設計事務所。
住宅からまちづくりまでを幅広く手掛ける。



カレーの街 神田の人気店、大集合！

Text ワテラスチューデントハウス 水谷 奈央子（東京大学 農学部四年）



ファン投票で選ばれたグランプリ決定戦の出場店 20 店舗が大集合。個性豊かな神田のカレーを食べ比べ。

400 店以上ものカレー 提供店が集まるカレー激戦区、神田。そんな私たちの街で行われる神田カレーグランプリは神田地区の活性化を目的にしており、今年で第 7 回目を迎えました。11月4 日、5 日に行われた決勝には 9 月 20 日までの予選ファン投票で選ばれた 20 店舗が登場しました。手軽な価

格、食べ比べできるサイズで様々なカレーを楽しめるとあってどの店舗も大行列。また、カレーの販売だけではなく、神田カレー川柳コンテスト、オリジナルカレー粉作り、ご当地レトルトカレー試食などの来場者を楽しませる企画も多数あり、終日にぎわっていました。



会場となったのは、ワテラスからほど近くの小川広場。この人だかり！

Photo Rui Yamazaki

SPEAK OUT!

私自身、ひとつの店舗のカレーを食べたら他の店舗のカレーもどんどん食べてみたくなり、2 日間とも会場に足を運んでしまいました。そして、まだまだ他のカレーも食べてみたいという思いになり、神田のカレーのファンになりました。

今回ボランティアスタッフとして参加して、このイベントはサポーター、企業スポンサー、地域の方、出店店舗のスタッフ、ボランティアスタッフなど数えきれない人々の協力によって支えられ

ていると実感しました。また私は主にゴミの分別をしていたのですが、あまりの忙しさであっという間の一日でした。

小さな子供たちから学生、さらには外国人など老若男女問わず来場しており、笑顔で溢っていた神田カレーグランプリ 2017。これからの神田は、日本のカレー文化が世界に伝わっていく中心地になるのではないかと感じました。



各ブースでは工夫をこらしたカレーの数々。朝からスパイスの香りが漂う。



ステージイベントも続々と。まずは神田カレー街活性化委員会の中保委員長がカレー色の鉢巻きで登場。



分別コーナーでのゴミ箱作りと回収作業。トレーを受け取りながら満腹の笑顔を見送る。



ワテラス学生チーム、一日目。それぞれの持ち場で頑張りました！

WE ARE AAM!

TRANS ARTS TOKYO 2017

2017年10月、毎年恒例となったアートフェス「TRANS ARTS TOKYO 2017」が神田をはじめとする都内数カ所で開催されました。ワテラスに登場したのは、北海道ニセコ在住のアーティスト磯崎道佳さんによる「ミーティング・ドーム」制作ワークショップ(20~22日)と、移動型音楽LIVEツアー「カンドトランスツアー」

の一部として行われたVIDEOTAPEMUSICによる音楽と映像のライブパフォーマンス(28日)。淡路公園に突如現れた巨大バルーンとワテラスコモン1F サロンに響くクラブミュージックに、いつもとは少し違う「アートな時間」が流れ、多くの参加者にご来場いただきました。



ミーティングドーム越しに、どこかファンタジックなワテラスの眺め。



ワテラスコモン1F サロンがライブハウスに変身!



ピアノ演奏と映像で織り成すVIDEOTAPEMUSICワールド。



オールスタンディングで音楽に身を委ねる。

主催 TRANS ARTS TOKYO 2017 実行委員会
事務局 一般社団法人非営利芸術活動団体コマンドN
協賛 住友商事株式会社、安田不動産株式会社、
新日鉄興和不動産株式会社、
株式会社大林組、株式会社久保工、
コカ・コーリーストジャパン株式会社
協力 一般社団法人淡路エリアマネジメント、
東京文化資源会議、神田スポーツ祭り 2017、
神田錦町二丁目町会、神田錦町三丁目第一町会、
小川町三丁目南部町会、五十稲荷神社、
美濃窯業株式会社、美学校、HEAD 研究会、
tokyobike、神田一八エリア振興会、
株式会社クロスブリッジ、UR 都市機構、
カンドビルディング協会、アーツ千代田 3331
後援 千代田区、一般社団法人 千代田区観光協会

千代田区観光協会
CHIYODA CITY TOURISM

ホテル 龍名館 お茶の水本店
HOTEL RYUMEIKAN OCHANOMIZU HONTEN

DJK 第一実業

AAM [一般社団法人淡路エリアマネジメント] では賛助会員を募集しております!

会員特典 当誌 Free Awaji Book をご送付。

当誌を含む情報発信媒体へ会員様名を掲載。

・その他の詳細はこちらから

www.waterras.com/awaji_am.html

・ご登録・お問い合わせ

www.waterras.com/contact

新しいコミュニティ作りへキックオフ!

